



県内主要産業の動向

2019年3・4月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	19年2月	19年3月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注は低調に推移。レストラン等の業務用や個人向けの動きが鈍い。一方、2月のドイツ見本市出展が海外での販路開拓に結びついた先もある。国内・海外市場ともに価格競争は厳しいものの、品質やデザイン性などで安価な製品との差別化を図る動きもみられる。
金属 ハウスウェア	●	●	→	受注は総じて低調。繁忙期を迎えたが、業務用、家庭用ともに動きが鈍い。材料費等の値上がりに伴う販売価格見直しが一部で進むものの、それに伴う受注減を懸念する声も聞かれる。そうした中、新元号を刻んだ製品を販売するなど、改元にあわせて需要喚起を図る動きもみられる。
作業工具	◐	◐	→	国内販売は、春先の需要期で生産、販売ともに例年通り増加。建築関連工具類は堅調ながら、今後国内メーカーに加え中国メーカーとの競合激化が見込まれ、先行きは厳しいとの予想。輸出は、東南アジア向けを中心に復調を維持。汎用工具以外に、各種分野の専用工具に注力する動きも。
電子部品 ・デバイス	◐	◐	→	受注は弱含み基調。半導体製造装置向けは、中国を中心とした海外需要が落ち込んでいる。携帯端末向けは、スマホの販売不振により低調に推移。一方、自動車搭載用は、用途により明暗が分かれる。海外経済の減速懸念から、先行きの見通しを慎重にみる向きが多い。
鋳物	○	○	↘	受注は横ばい。半導体関連、工作機械関連は主に中国向けが弱含み。自動車関連は内燃機関の落ち込みを、車載器やトラック用部品などで補完。建設関連は公共投資に一服感がみられる。足下では、原材料価格は安定しており、労務費圧縮がコスト削減のカギに。
金型	○	○	→	受注は横ばい。自動車関連では車体向けで足踏み状態が続いているものの、車載器向けで持ち直しの動き。首都圏向け建築金物は微増。家電や農機具のスポット受注もみられた。そうした中、相応の受注残を維持しつつも、先行きの不透明感を懸念する声が聞かれた。
一般機械	○	○	→	外需は、米国向け航空機・宇宙関連の好調は変わらず。中国についても、春節明けは底堅い状況が続く。内需は、一部に投資判断の先送りもみられるが、現状程度が底との見方も聞かれる。足下では、年度末受注の反動から、若干動きが弱いとの声も聞かれる。



業種	景況			コメント
	19年2月	19年3月	先行き	
絹織物	●	●	→	十日町産地の3月の生産高は前年をやや下回った。フォーマルな着物は伸び悩んだが、夏向けのカジュアルな着物は堅調に推移した。4月上旬に開催されたイベントは盛況。今後も様々なイベントや商談会が続くことから、先行きに期待。五泉産地の白生地生産高は前年を下回り、低調な推移。
合織織物	●	●	→	秋物受注期入り。暖冬の影響が長引き、受注は小ロットで勢いを欠く。展示会では、店頭の不振からバイヤーの反応は慎重で、各産地の商品企画力が試される所。栃尾産地では、首都圏での展示会に向け、衣料だけでなくインテリアや新素材の商品などの製作に注力している。
ニット	●	●	→	夏物の生産終盤期。春先の寒暖差が大きく春物の売れ行きが鈍かったため、アパレルの発注姿勢は慎重。足下では、秋冬物の展示会が始まっているが、昨シーズンの暖冬による売上不振から、アパレルは在庫を抱えており反応は鈍い。先行きは天候次第となるが、気温上昇による夏物追加受注を期待する声が聞かれた。
木工家具	●	●	→	業務用では、春先の商戦向け受注に早い動き出しがみられたものの、長続きせず。足下でも散発的な受注に止まる。家庭用では、大型製品の不振が続き、売上確保に苦慮する状況。大型連休に向けて、小物類やアイデア製品のPR、木工体験教室などのイベント開催により顧客取り込みを図る。
清酒	●	●	→	3月の出荷量は、県内・県外向けとも前年を下回った。販路別では、飲食店向けが引き続き不振で、スーパー向けも伸び悩んでいる。酒類別では、本醸造酒・普通酒が不振。酒の陣や蔵開きなどのイベントの集客は良好であり、各酒蔵とも出荷増に繋げるべく知恵を絞っている。
米菓	◐	◐	→	3月の売上は前年をやや下回った。需要期を過ぎ、あられ・おかき類がやや低調であった。足下では、春の行楽シーズンを迎え、生産が本格化。一部メーカーでは新元号発表を受け、パッケージへの採用や、平成元年の復刻商品投入などで需要喚起を図る動きがみられた。
建設	◐	◐	→	公共工事は、前年度補正予算の執行を受けて持ち直し基調。発注者別では、県の土木部で件数・金額とも増加している。民間工事は、製造業を中心に底堅く推移。足下で運輸や小売業などにも動きがみられる。住宅建設は、消費税率引き上げを控えて持家の着工が動き出している。
大型小売店	◐	◐	→	3月の売上はほぼ前年並み。天候安定から客足は伸び、野菜価格の持ち直しも寄与。家庭内調理時間の短縮から惣菜関連は安定し、食品全体はプラスだが、酒類は下落傾向続く。婦人雑貨と高級ブランド、紳士服催事も好調だが、足下では、気温が上がらず春物衣料の動きが鈍い。